【二〇二〇年を振り返る】

目に見えぬ感染症との闘い　コロナに振り廻された一年に!!

　二〇一九年十二月に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全世界に広がり、今なお終息の兆候が見えない状況にあります。

　日本国内でも、今年三月半ば以降感染が全国に広がり、四月には緊急事態宣言が発出され、種々の制限や自粛の要請を受け、日常生活は一変。オリンピック、プロ野球等スポーツ界、加えて、経済活動にも大きなダメージを与えました。

　昨年五月二五日に緊急事態宣言が解除された以降も新規感染者の発生は後を絶たず、国内感染者数は、依然増え続けています。

　我々友の会も、多大な影響を受け、思うような活動ができず、コロナに振り廻された一年でありました。

　そこで、この紙面では、この一年を振り返り、活動の経過報告をさせて頂くこととします。

■親睦グランドゴルフ大会例年並みに開催

新型コロナウイルス感染症が広まる手前、昨年三月七日、塩浜ヘルスプラザにおいて、四十名を超える会員の参加を得て開催することができました。当日は、雲なく、風もない絶好の春日和の中、熱気溢れる大会となり、健康増進に役立った半日でした。今にして思えば、運にも恵まれていました。

■第四二回定期総会異例の「書面決議」!!

例年四月に、定期総会開催の案内を各会員宛にお届けしておりますが、昨年四月七日に緊急事態宣言が発出され、総会開催の可否の判断に迫られました。友の会活動の中で最も多くの会員が集う場であり、何とか実施できないものかと、鋭意検討を加えましたが「三密」を完全に避ける確信が持てない中、鈴鹿のさつき会をはじめ、東京・吹上等他工場のOB会が中止となるとの情報が入り、会員の安全と安心を最優先させ、止むを得ず、開催中止とすることに致しました。

その為、総会決議を要する議案については、異例の対応として葉書による賛否を実施させて頂きました。多くの会員の方々にご理解とご協力を頂戴しました。深く感謝申し上げます。

■大相撲名古屋場所観戦も「中止」の決断に!!

新型コロナウイルス感染症が全国レベルに広がった昨年三〜四月の頃、プロ野球・Jリーグ等の国内スポーツも大きな影響を受けておりました。大相撲もその例外ではなく、果たして名古屋場所は予定通り開催できるのか、極めて不透明な状況にありました。既に、会員向けに観戦の募集を開始し、申込を済まされていた会員の方々にはご迷惑をかけましたが、観戦中止の決断を四月に実施させて頂きました。結局、五月場所は中止。名古屋場所も無観客で、然も国技館での開催となってしまいました。

■感染予防対策を講じ趣味の会連絡会を開催

緊急事態宣言解除後、友の会活動の再始動に向け昨年六月十六日に幹事会を再開しました。また、例年七月開催しております趣味の会連絡会議も、マスク着用、手洗い、手指の消毒の励行に努める等の感染予防対策を講ずる中、昨年七月六日にジョイフル二階会議室にて開催しました。当日は各趣味の会の活動の現況と今後の計画を主に議論が交されました。各趣味の会の活動内容、活動の特色等が異なる為、コロナ禍の中、その活動に凹凸が見受けられ、大変苦心・苦慮されている趣味の会が多く見受けられました。（各趣味の会の昨年一年間の活動につきましては第三面を参照下さい。）

■健康ウオーキング大会二年連続の天候不順の為「中止」となる!!

昨年十月十日に計画しておりました健康ウオーキング大会は、予備日としていた十月十七日も降雨に見舞われ、中止となってしまいました。一昨年も天候不順による中止でしたので、これで二年連続。三十名近い方々の参加予定でしたが、誠に残念な結果となりました。

二〇二一年当面の活動計画

　以上の活動の他、例年七月に発行しております友の会だよりを休刊とし、更に三重工場納涼祭り及び地域美化活動もコロナ禍の為中止となる等、その影響を大きく受けた一年でした。

　新しい年を迎え、このコロナ禍が落ち着き、安心して過ごせる日々が一日も早く戻ってくることを願うばかりです。

　平穏な日常の中での活動を前提に、当面次の活動を計画することとします。

◆親睦グランドゴルフ大会（グランドゴルフ同好会共催行事）

【期日】令和三年三月六日
【会場】ヘルスプラザ塩浜
【集合】午前八時四五分
【参加費】無料

◆第四三回定期総会

【期日】令和三年五月二九日
【会場】四日市文化会館（仮）
【受付】午前九時より
【開始時刻】午前九時半
【内容】第一部　総会
　　　　第二部　アトラクション
　　　　第三部　昼食交流会

◆第四回大相撲名古屋場所観戦（十一日目）

【期日】令和三年七月十四日
【定員】枡席七枡二八名
　但し「先着順」とします
※尚、観戦後の高田川部屋との交流会は「なし」とします。

財政健全化計画案の大綱がまとまる!!

※本年定期期総会にて提案・審議の予定

　当会の課題『会員の高齢化と会員数の減少による財政の悪化』については、これまで機会を捉えて会員各位にお知らせし、理解・認識を深めて頂けるよう努めてきました。

　また、二〇一九年度決算結果（単年度収支残が赤）及び二〇二五年度を最終とした財政見通しを踏まえ、実行を急ぐ必要性から①弔慰見舞金制度の見直し、②長寿（米寿）祝いのお祝品の水準・内容の見直し等、定期総会決議の手続きを経て、二〇二〇年度より施策の一部前倒しを実施して参りました。

　緊急事態宣言解除後、役員会議を繰り返し開催し、今一度原点に立ち返った検討を重ねる中、財政健全化計画案全体の取り纏めと整理を実施し、幹事会での提案・審議を経て、その原案の大綱が出来上がりましたので、今号にてその概要を掲載させて頂きます。

■計画立案の背景と必要性

依然、会員数の減少化傾向にあることに変わりはなく、寧ろ、我々が想定していた以上の減少スピードにあります。今後、会員増強策を強力に推進しても、会員数減を充分に補える状況にはなく、年々会員数は減少していくと捉えざるを得ません。その結果、収入規模は年々縮小し、財政的にも由々しき事態に陥ることは明らかで財政健全化に向けた取組みが待ったなしの状況にあります。また、会員の平均年齢は現在七七歳。年代別では、八十歳以上が会員全体の三五%、七十歳代が五三%、六十歳代が十二%です。更に、七五歳以上で区切ると、全体の六四%を占め、全体の２／３を八十歳以上の会員が占める時代が来るのも、遠い話ではありません。会員の高齢化に備えた対応も視野に入れておく必要があります。

■施策立案の考え方

財政健全化の基本方針は、第一面の会長挨拶に記載の通りですが、この基本方針に沿い、財政の健全化を実現していく為の施策立案に関しては、次の考え方に立脚しています。

①収入規模の縮小化傾向を踏まえ、限りある財源を各活動に、効果的、且つメリハリの効いた活用と配分を行っていく必要がある。その為、すべての活動の棚卸を改めて実施し、当会の目的に照らし合わせた上で、現状における優先順位付けを行い、優先度合いの低い活動は廃止等の決断を行う。

②一方、継続とする活動に関しても、優先度合いに応じ寧ろ、充実を図る活動、現行レベル継続の活動、予算減額／開催頻度減の措置等の見直しを行った上で継続する活動に仕分けし、更に会員の高齢化の進展等、将来を見据え、新規活動の導入を図りつつ、活動項目の品揃えと多様性を備えた内容へと再構築を図る（その際「退会抑止」の側面からの考察を加える）

③当会運営に関わる支出額は支出総額の三十%近く（二〇一九年度実績ベース）を占め、収入規模が年々縮小していくにつれ、その割合は年々高まり、財政的負担も重くなる為、運営のあり方に関しても大胆にメスを入れ、効率化を図る。

■具体的主要施策

施策立案の考え方に沿って全体像を右の（別表１）の通り整理しております。尚、施策の実施年度については、本年二〇二一年度を基本に、一部設立四五周年を迎える二〇二三年度からとし、その年度末までに完了させる計画でいます。

◆充実を図る活動

定期総会・懇親会、友の会だより。特に、総会に関しては、四五周年の二〇二三年を契機に、当会の最大イベントに相応しい内容へとアトラクション、懇親会を中心に充実させていく。

（別表1）　財政健全化施策並びに活動の見直し（改廃・充実）／再構築一覧

活動項目	見直し・再構築の方向性：廃止	現行継続	予算減額	開催頻度減	充実	新設
定期総会・懇親会					○	
友の会だより／ホームページ					○	
趣味の会活動		○				
長寿祝い		○	※2020年度実施済の一人当りの祝品の水準・内容の見直し後にて継続			
健康ウオーキング大会／親睦グランドゴルフ大会			○	（隔年開催）○		
大相撲名古屋場所観戦			（全額参加者負担化）○			
工場納涼祭り			（友の会運営によるブース廃止）○			
地域美化活動			（参加者への手当支給廃止）○			
工場見学会（毎年一回開催）						○
入会10年／20年の節目年度に記念品贈呈						○
会員有志活動への支援策						○
弔慰見舞金制度	○					
研修会	○					
上部団体との関係	（退会）○					
行動費（手当）・会議費・事務費・研修会・予備費他			（運営組織体制の変更／効率化）○			

◆現行レベル継続の活動

趣味の会、長寿祝い

◆見直しの上継続する活動

健康ウオーキング大会
親睦グランドゴルフ大会
大相撲観戦、工場納涼祭り、地域美化活動

◆「廃止」とする活動

当会の目的に照らした優先度合い及び財源確保の観点から、二〇二〇年度に見直しを行った活動も含め、次の通りとする。

・弔慰見舞金制度廃止
・上部団体からの退会
・研修会実施の取止め

◆運営・体制の変更

役員・幹事・地区幹事による多層・多人数の現行運営体制を廃止し、役員十名（会計監査を除く）によるスリムでフラットな組織体制に変更を行い運営費用の効率化を推進する。

◆新設する活動（案）

①工場見学会の開催
会員であれば誰でも参加可能で、総会以外に会員が集える場の提供として、年一回実施できるよう関係先と相談・調整を行う。

②入会十年／二十年の節目年度に記念品贈呈
永く当会会員として継続して頂く為、節目となる年度に記念品（金券など）を贈り、当会の目的である「豊かな熟年生活」向上への一助として役立てて頂く。

③会員有志活動への支援策
例えば、会員有志のグループが、趣味の会の十二の活動以外の活動を定期的に行い、自ら積極的に「相互の親睦・交流」を図り「豊かな熟年生活」の実現に努めている場合等、その活動の一助となるよう、趣味の会への行事補助金支給基準を準用し、支援していく。また、多種多様な活動に対し、広く支援できるよう運用細則を定める。

※以上の結果、健全化施策実施後の支出総額に占める各活動への配分割合は、現時点、上表（別表２）の通りとなります。

（別表2）財政健全化施策実施後の支出総額に占める各活動への配分割合の変化

活動（行事）項目	2019年度実績の支出総額に占める割合（%）	2025年度想定の支出総額（=収入総額）に占める割合（%）	
定期総会・懇親会	12.6	16.3	
友の会だより／ホームページ	15.2	22.7	
趣味の会活動	8.7	13.3	
健康ウオーキング 親睦グランドゴルフ 大相撲名古屋場所観戦 工場納涼祭／地域美化	4.9	2.6	10.7
新設の活動 ①工場見学会 ②入会10年／20年の節目年度に記念品贈呈 ③会員有志活動への支援策	0	8.1	
長寿祝い	（17人）4.9	（25人）5.6	
弔慰・見舞金制度	10.9	0	
上部団体	4.7	0	
組織運営費用（行動費，会議費，事務費，研修費，予備費　他）	29.3	20.2	
記念総会積立	8.8	11.2	
合計	100	100	